

雨水浸透阻害行為許可に係る手続き

許可に係る一般的な手続きについて

目 次

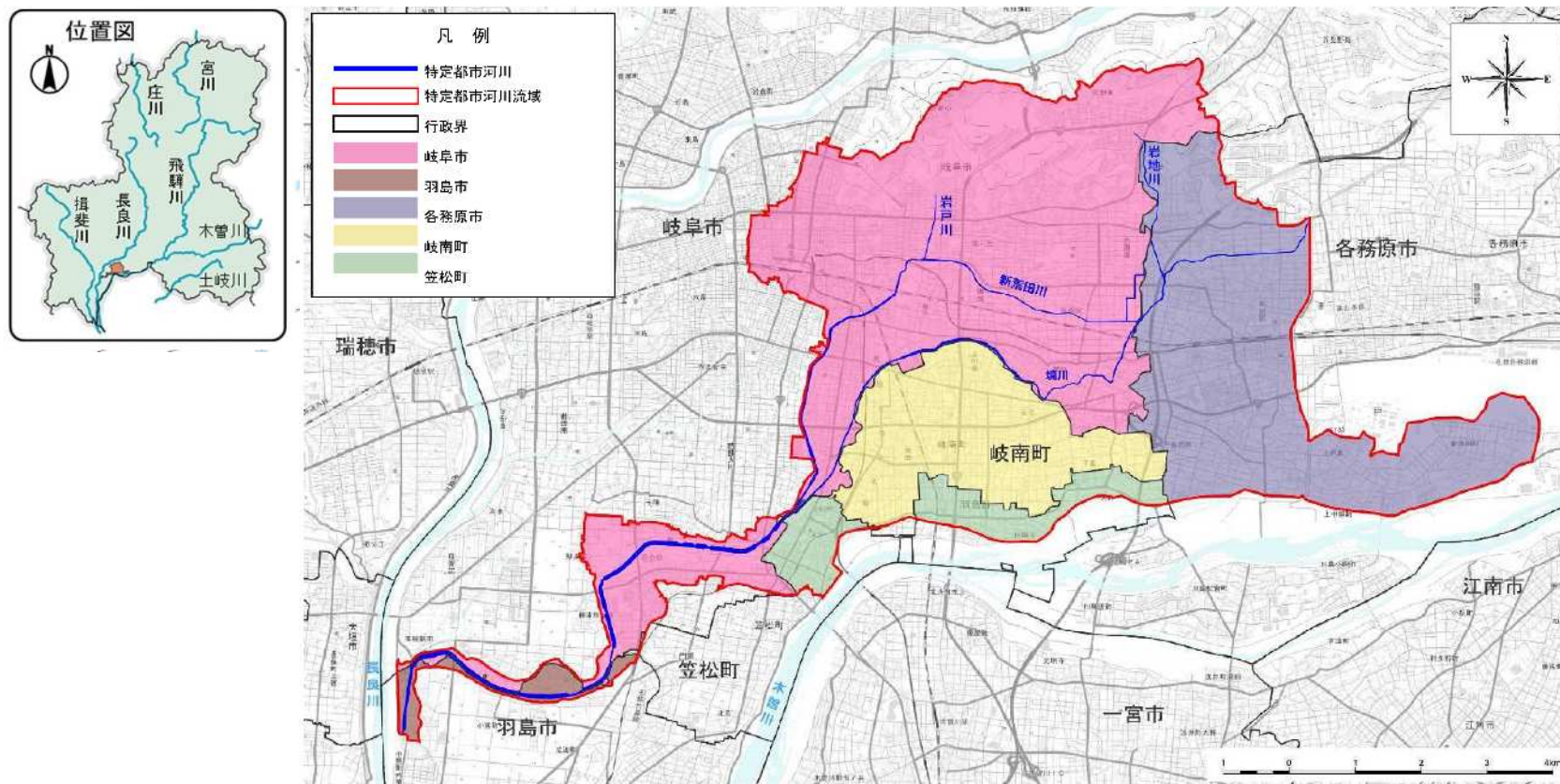
1. 雨水浸透阻害行為の許可について	3
1-1. 特定都市河川流域	4
1-2. 雨水浸透阻害行為の許可の対象となる行為	5
2. 雨水浸透阻害行為の許可申請の流れ	6
2-1. 申請フロー	7
2-2. ①事前相談	8
1) 事前相談提出書類及び図面アクセス方法	9
2) 事前相談提出書類及び図面一覧	10
3) 事前相談提出書類様式及び図面（参考イメージ）	11
4) 事前相談提出その他資料	15
2-3. ②許可申請	17
1) 許可申請提出書類及び図面アクセス方法	17
2) 許可申請提出書類及び図面一覧	19
3) 許可申請提出書類様式及び図面（参考イメージ）	20
4) 許可申請提出その他資料	29
5) 調整池容量計算の解説	31

1. 雨水浸透阻害行為の許可について

1-1.特定都市河川流域

1) 特定都市河川流域と雨水浸透阻害行為の許可について

岐阜県は令和8年6月1日に一級河川境川、新荒田川、岩地川、岩戸川を特定都市河川に指定し、併せて一級河川境川流域を特定都市河川流域に指定した。特定都市河川流域内の宅地等以外の土地において、雨水浸透阻害行為を行おうとする者は、あらかじめ、知事等の許可を受けなければならない。



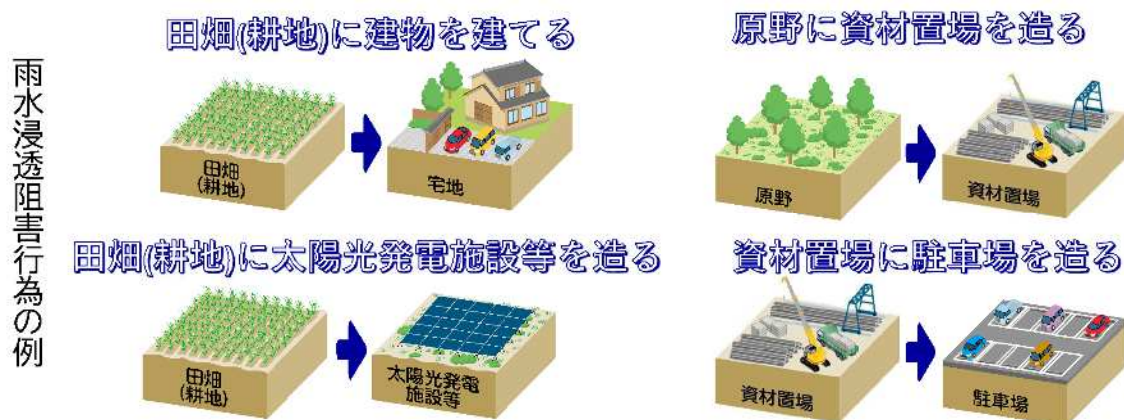
1-2.雨水浸透阻害行為の許可の対象となる行為

1) 許可の対象となる行為

雨水浸透阻害行為の許可の対象となる行為は、特定都市河川流域内の宅地等以外の土地において、雨水の浸透を著しく妨げるおそれのあるものとして次に掲げる行為のうち、**1,000㎡以上**のものをいう。

- ① 宅地等にするために行う土地の形質の変更
- ② 土地の舗装（コンクリート等の不浸透性の材料で土地を覆うことをいい、①に該当するものを除く。
なお、地すべり防止工事及び急傾斜地崩壊防止工事等においては、地表面を全面的にコンクリート等で覆うものが対象となる。）
- ③ ①及び②のほか、土地からの流出雨水量を増加させるおそれのある次に掲げる行為
 - ゴルフ場、運動場その他これらに類する施設（雨水を排除するための排水施設を伴うものに限る。）を新設し、又は増設する行為
 - ローターその他これに類する建設機械を用いて土地を締め固める行為（既に締め固められている土地で行われる行為を除く。）

なお、③に定める行為により造成された土地において、①又は②に定める行為を行うときは許可を要するとともに、雨水浸透阻害行為の許可は、行為の主体及び行為の目的を問うものではなく、公的主体が行う行為及び公益性のある事業に伴う行為であっても許可を要する。

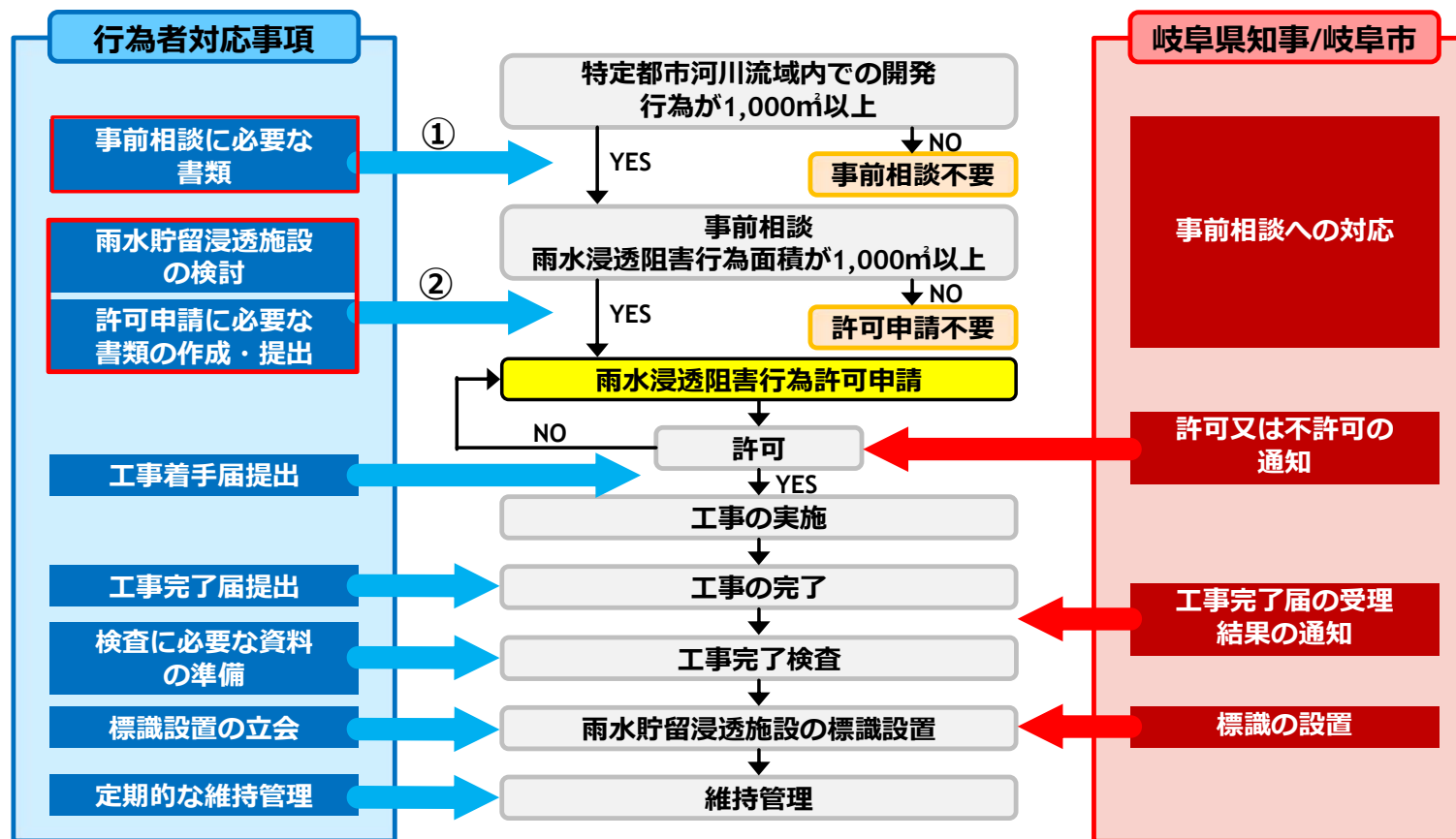


2. 雨水浸透阻害行為の許可申請の流れ

2-1.申請フロー

1) 許可に係る一般的な手続きについて

雨水浸透阻害行為許可の一般的な手続きの流れは次のとおりである。



2-2.①事前相談

1) 事前相談提出書類及び図面アクセス方法(1)

★岐阜県HPにアクセス

「雨水貯留浸透施設設計・施工技術指針（案）」（右図参照）

<https://www.pref.gifu.lg.jp/page/486252.html>



(4) 雨水貯留浸透施設設計・施工技術指針（案）

(4) 雨水貯留浸透施設設計・施工技術指針（案）

境川流域（岐阜市を除く）においては、以下の技術指針を用いてください。

雨水浸透阻害行為許可等申請のための雨水貯留浸透施設設計・施工技術指針（案） [PDFファイル/5MB]

事前相談・許可申請にあたっては、以下のチェックリストにより他法令の手続き状況を報告願います。

他法令手続き調整用チェックリスト [Wordファイル/20KB]

事前相談・許可申請に必要な各種様式のダウンロード（※その他必要な資料は指針5-2をご確認ください）

→ 特定都市河川浸水被害対策法 第30条の確認

事前相談に必要な書類は、
 枠のとおりである



必要書類のダウンロード

事前相談	許可申請	許可後	様式名	名称
○			様式-7	雨水浸透阻害行為許可事前相談書 [Excelファイル/17KB]
	○		別記様式第二	雨水浸透阻害行為許可申請（協議）書 [Wordファイル/24KB]
	○	●	第1号様式	雨水浸透阻害行為に関する工事及び対策工事の計画説明書 [Wordファイル/30KB]
○	○	●	様式-2	様式-2から様式-6一括ダウンロード [Excelファイル/124KB]
○	○	●	様式-3	上記のとおり
○	○	●	様式-4	上記のとおり
	○	●	様式-5	上記のとおり
	○	●	様式-6	上記のとおり
		●	第2号様式	雨水浸透阻害行為変更許可申請（協議）書 [Wordファイル/26KB]
		●	第3号様式	雨水浸透阻害行為変更届出書 [Wordファイル/24KB]
		○	第4号様式	雨水浸透阻害行為に関する工事着手届出書 [Wordファイル/24KB]
		○	別記様式第三	雨水浸透阻害行為に関する工事完了届出書 [Wordファイル/23KB]
		●	別記様式第四	雨水浸透阻害行為に関する工事廃止届出書 [Wordファイル/22KB]

2-2.①事前相談

1) 事前相談提出書類及び図面アクセス方法(2)

★岐阜県HPにアクセス

確認方法 PDFファイルデータによる確認

【境川流域】流域治水の法的枠組み(特定都市河川)

<https://www.pref.gifu.lg.jp/page/486252.html>

(右図参照)



「(2) 雨水浸透阻害行為の許可申請の対象区域」

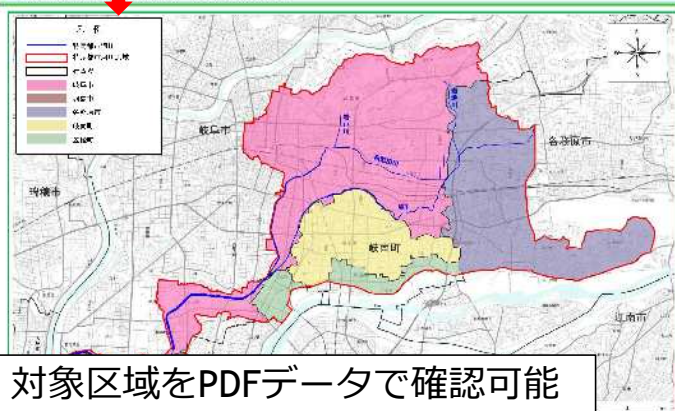
(2) 雨水浸透阻害行為の許可申請の対象区域

境川流域の対象区域は下記の通りです(流域図と同様です)

特定都市河川流域図【対象区域】[PDFファイル/11.8MB]

対象区域は、別サイト「県域統合型GISぎふく外部リンク」でも確認することができます。

特定都市河川流域(境川流域)



対象区域をPDFデータで確認可能



対象区域をGISで確認可能

2-2.①事前相談

2) 事前相談提出書類及び図面一覧

事前相談に必要な提出書類及び図面は、下記の表 枠のとおりである。 提出部数：2部（内1部返却用）

【許可申請関係】

○は必要書類（●は内容に応じ必要となる書類）

事前 相談	許可 申請	許可 後	様式名	名称
○			様式 7	雨水浸透阻害行為許可事前相談書
	○		別記様式第二	雨水浸透阻害行為許可申請（協議）書
	○	●	第1号様式	雨水浸透阻害行為に関する 事及び対策工事の計画説明書
○	○	●	様式 2	現況土地利用区分面積集計表（行為前）
○	○	●	様式 3	計画土地利用区分面積集計表（行為後）
○	○	●	様式 4	行為前後の土地利用集計表 エクセル自動計算
	○	●	様式 5	雨水浸透阻害行為前後の平均流出係数
	○	●	様式 6	雨水浸透阻害行為前後の最大雨水流出量
		●	第2号様式	雨水浸透阻害行為変更許可申請（協議）書
		●	第3号様式	雨水浸透阻害行為変更届出書
	○		第4号様式	雨水浸透阻害行為に関する工事着手届出書
		○	別記様式第二	雨水浸透阻害行為に関する工事完了届出書
		●	別記様式第四	雨水浸透阻害行為に関する工事完了届出書

【図面関係】

事前 相談	許可 申請	許可 後	様式名	名称
○	○	●	図面-1	行為区域位置図【縮尺 1/50,000以上】
○	○	●	図面-2	行為区域区域図【縮尺 1/2,500以上】
○	○	●	図面-3	現況平面図（行為前）【縮尺 1/2,500以上】
○	○	●	図面-4	現況土地利用区域図（行為前）【縮尺 1/2,500以上】
○	○	●	図面-5	土地利用計画図（行為後）【縮尺 1/2,500以上】
○	○	●	図面-6	土地利用計画区域図（行為後）【縮尺 1/2,500以上】
	○	●	図面-7	排水施設平面位置図【縮尺 1/2,500以上】
	○	●	図面-8	対策工事に係る雨水貯留浸透施設の計画図【縮尺 1/2,500以上】
		●	図面-9	雨水貯留浸透施設の形状 雨水貯留浸透施設の構造の寸法（プラスチック製品の品質証明書）
	○	●	図面-10	標識設置位置図【縮尺 1/500以上】

【その他資料】

事前 相談	許可 申請	許可 後	様式名	名称
	○	●	資料-1	土地の登記事項を示す書類（全部事項証明書の写し）
	○	●	資料-2	公図の写し
○	○	●	資料-3	現況写真（写真撮影位置図を添付）
	○	●	資料-4	工事工程表（任意様式）
●	●	●	資料-5	その他必要な資料（委任状、印鑑証明の写し、同意書の写し、雨水浸透阻害行為に関する工事の廃止の理由及び廃止に伴う措置を記載した書類）

2-2.①事前相談

3) 事前相談提出書類及び図面（参考イメージ）(1)

事前相談に必要な書類の様式7と図面の1・2は以下のとおりである。

赤文字の箇所を記入（以降の様式及び図面も同様）

様式-7

No.

雨水浸透阻害行為許可事前相談書

事前相談日時	●年 ●月 ●日 (●) ●:● ~ ●:●
事業区域に含まれる地域の名称	●市 ●町
事業区域の面積	11.094 m ²
予定する事業の計画の内容	(例) 宅地工事
事業主又は建築主等の住所・氏名	住所 ●市 ●町 ●丁目 ●番地 氏 名 ●●●●
代理人等の住所・氏名・連絡先	住所 ●市 ●町 ●丁目 ●番地 氏 名 ●●●● 連絡先 000 (000) 000 担当者名 ●●

この事前相談は、雨水浸透阻害行為許可の申請の要否についてのみ審査するもので、他法令等に基づく審査を行うものではありません。

※処理欄

事前相談担当者名 _____

雨水浸透阻害行為面積 _____ m²

雨水浸透阻害行為許可申請 (要 ・ 不要) _____

許可申請不要の理由 _____

備 考 _____

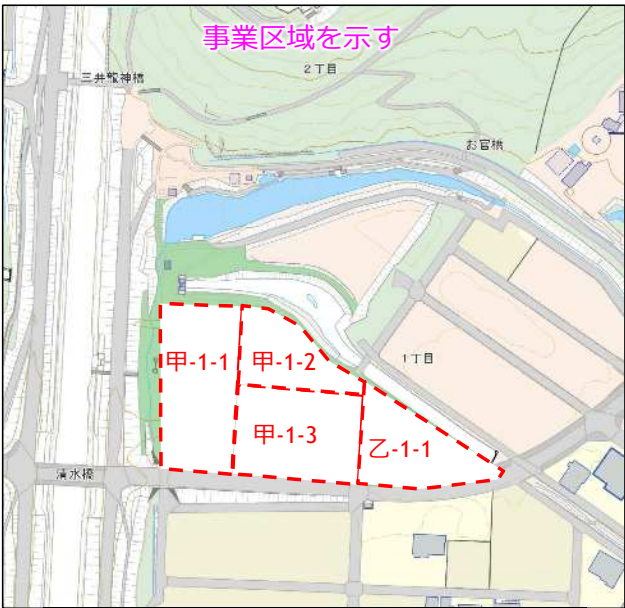
結果の連絡 _____ 年 月 日 済 (□ 来 〆 □ 来 序) _____

連絡した相手名 _____

※印欄は記入しない



図面-1 行為区域位置図【縮尺1/50,000以上】



図面-2 行為区域区域図【縮尺1/2,500以上】

2-2.①事前相談

3) 事前相談提出書類及び図面 (参考イメージ) (2)

事前相談に必要な書類の様式2及び、様式2を記入する際に必要となる図面は以下のとおりである。

様式-2は、行為前の土地利用別に面積を記入する (※面積はha(ヘクタール)で入力)

現況土地利用区分面積集計表 (行為前)

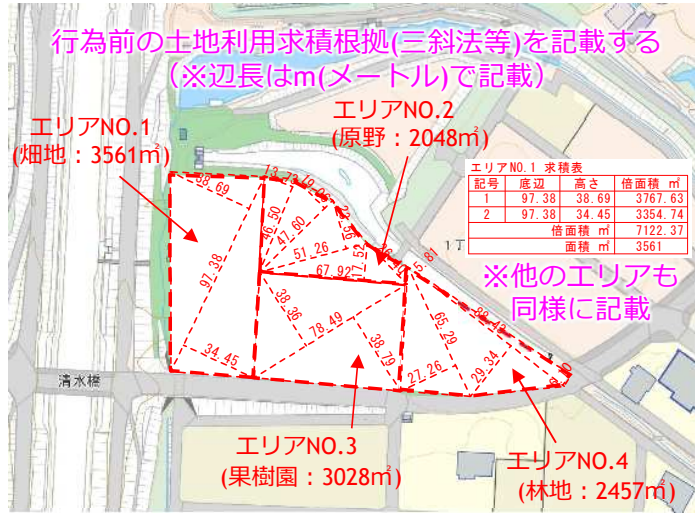
様式-2

エリア No	宅地等										舗装された土地		その他土地からの流出雨 水量を増加させるおそれ のある行為に係る土地				左記以外の土地		
	宅地	池沼	水路	ため池	道路 （法面 を有し ないも のに限 る。）	道路 （法面 を有す るもの に限る。）	鉄道線 路（法 面を有 しない ものに 限る。）	鉄道線 路（法 面を有 するも のに限 る。）	飛行場 （法面 を有し ないも のに限 る。）	飛行場 （法面 を有す るもの に限る。）	コンク リート 等の不 浸透性 の材料 により 覆われ た土地 （法面 を除く）	コンク リート 等の不 浸透性 の材料 により 覆われ た法面	ゴルフ 場（雨 水を排 除する ための 排水施 設を伴 うもの）	運動場 その他 これに 類する 施設（ 雨水を 排除す るため の排水 施設を 伴うも のに限 る）	ロー ラーそ の他こ れに類 する建 設機械 を用い て締め 固めら れた土 地	山地	人工的 に造成 された 植生に 覆われ た法面	林地、 耕地、 原野そ の他、 ロー ラーそ の他こ れに類 する建 設機械 を用い ていな い土地	
1																			0.3561
2																			0.2048
3																			0.3028
4																			0.2457
5																			
小計 1																			1.1094
小計 2																	1.1094		
合 計	1.1094																		

(単位: ha)



図面-3 現況平面図(行為前)【縮尺1/2,500以上】



図面-4 現況土地利用求積図(行為前)【縮尺1/2,500以上】

2-2.①事前相談

3) 事前相談提出書類及び図面 (参考イメージ) (3)

事前相談に必要な書類の様式3及び、様式3を記入する際に必要となる図面は以下のとおりである。

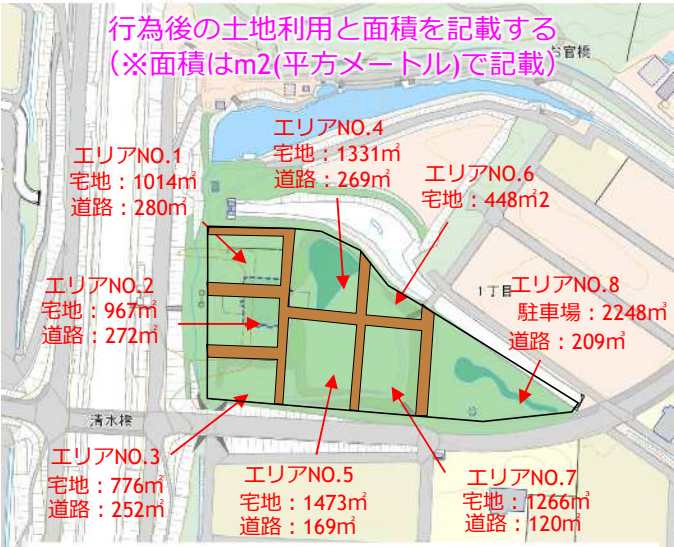
様式-3は、行為後の土地利用別に面積を記入する (※面積はha(ヘクタール)で入力)

計画土地利用区分面積集計表 (行為後)

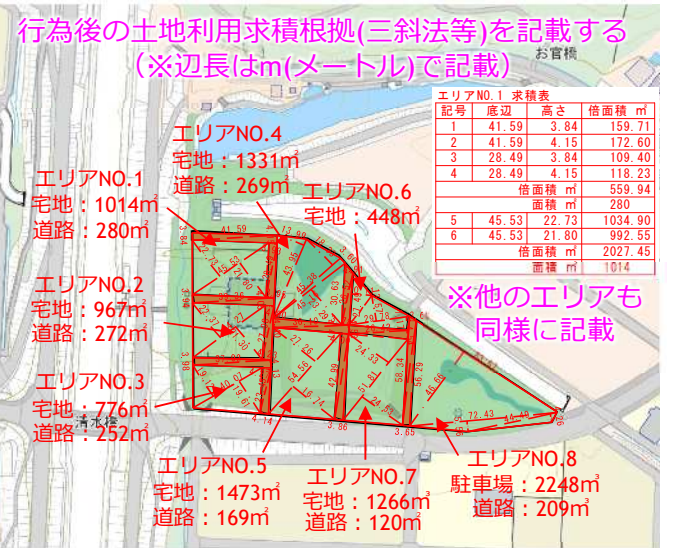
様式-3

エリア No	宅地等										舗装された土地		その他土地からの流出雨 水量を増加させるおそれ のある行為に係る土地			左記以外の土地			
	宅地	池沼	水路	ため池	道路 （法面 を有し ないも のに限 る。）	道路 （法面 を有す るもの に限る。 ）	鉄道線 路（法 面を有 しない ものに 限る。）	鉄道線 路（法 面を有 するも のに限 る。）	飛行場 （法面 を有し ないも のに限 る。）	飛行場 （法面 を有す るもの に限る。 ）	コンク リート 等の不 浸透性 の材料 により 覆われ た土地 （法面 を除く）	コンク リート 等の不 浸透性 の材料 により 覆われ た法面	ゴルフ 場（雨 水を排 除する ための 排水施 設を伴 うもの）	運動場 その他 これに 類する 施設 （雨水 を排除 するた めの排 水施設 を伴う ものに 限る）	ロー ラーそ の他こ れに類 する建 設機械 を用い て締め 固めら れた土 地	山地	人工的 に造成 された 植生に 覆われ た法面	林地、 耕地、 原野そ の他 ロー ラーそ の他こ れに類 する建 設機械 を用い ていな い土地	
1	0.1014				0.0280														
2	0.0967				0.0272														
3	0.0776				0.0252														
4	0.1331				0.0269														
5	0.1473				0.0169														
6	0.0448																		
7	0.1266				0.0120														
8					0.0209						0.2248								
小計 1	0.7275				0.1571						0.2248								
小計 2	0.8846										0.2248								
合 計	1.1094																		

(単位: ha)



図面-5 土地利用計画図(行為後)【縮尺1/2,500以上】



図面-6 土地利用計画求積図(行為後)【縮尺1/2,500以上】

2-2.①事前相談

3) 事前相談提出書類及び図面（参考イメージ）(4)

事前相談に必要な書類の様式4は以下のとおりである。

様式-4は、エクセルの様式-2及び様式-3を記入すれば自動に記入される

行為前後の土地利用集計表							様式-4
土地利用区分		①欄 様式-1	②欄 様式-2	③欄	④欄	参考	備 考
土 地 利 用 区 分		現況土地利用 面積 (㎡) ①	計画土地利用 面積 (㎡) ②	面積差 (㎡)	雨水浸透阻害行為の当該面積	流出係数	
		様式-1 小計 1 の欄	様式-2 小計 1 の欄	②-①	③欄が (+) の場合、原則該当 該当の場合面積 (㎡) を記入		
宅地等	宅 地		7275.0000	7275.0000	7275.0000	0.90	宅地等の区分 同士の増減は対象と しない。
	池 沼					1.00	
	水 路					1.00	
	た め 池					1.00	
	道路 (法面を有しないものに限る。)		1571.0000	1571.0000	1571.0000	0.90	
	道路 (法面を有するものに限る。)					加重平均	
	鉄道線路 (法面を有しないものに限る。)					0.90	
	鉄道線路 (法面を有するものに限る。)					加重平均	
	飛行場 (法面を有しないものに限る。)					0.90	
	飛行場 (法面を有するものに限る。)					加重平均	
小 計			8846.0000	8846.0000	8846.0000		
舗装された土地	コンクリート等の不透水性の材料により覆われた土地 (法面を除く)		2248.0000	2248.0000	2248.0000	0.95	
	コンクリート等の不透水性の材料により覆われた法面					1.00	
	小 計		2248.0000	2248.0000	2248.0000		
その他土地からの流出雨水量を増加させるおそれのある行為に係る土地	ゴルフ場 (雨水を排除するための排水施設を伴うもの)					0.50	
	運動場その他これに類する施設 (雨水を排除するための排水施設を伴うものに限る。)					0.80	
	ローラーその他これに類する建設機械を用いて締め固められた土地					0.50	
	小 計						
上記に掲げる土地以外の土地	山 地					0.30	
	人工的に造成された植生に覆われた法面					0.40	
	林地、耕地、原野その他ローラーその他これに類する建設機械を用いていない土地	11094.0000		-11094.0000		0.20	
	小 計	11094.0000		-11094.0000			
合 計		11094.0000	11094.0000		11094.0000		

④欄の合計 11094.0000 ㎡ ←
1,000㎡ (0.1ha) 以上の場合、申請の対象

(-) の欄は記載不要 (単位: ㎡)

2-2. ①事前相談

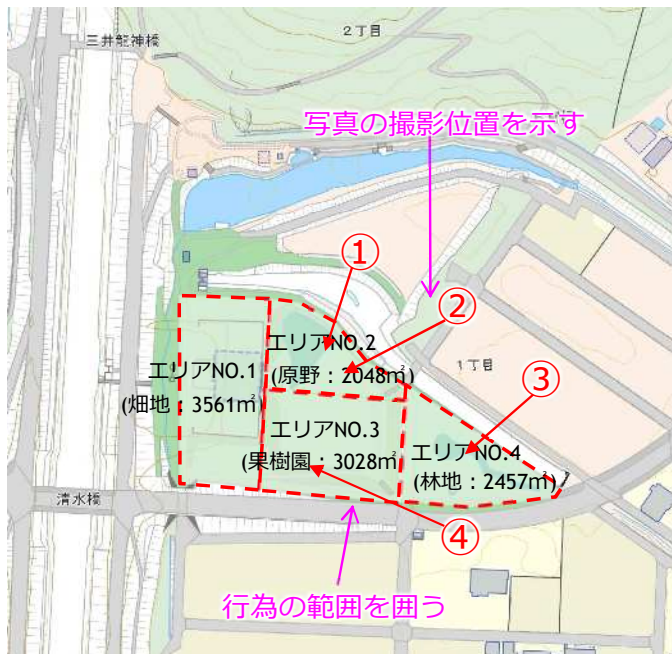
4) 事前相談提出その他資料

事前相談に必要なその他資料は以下のとおりである。

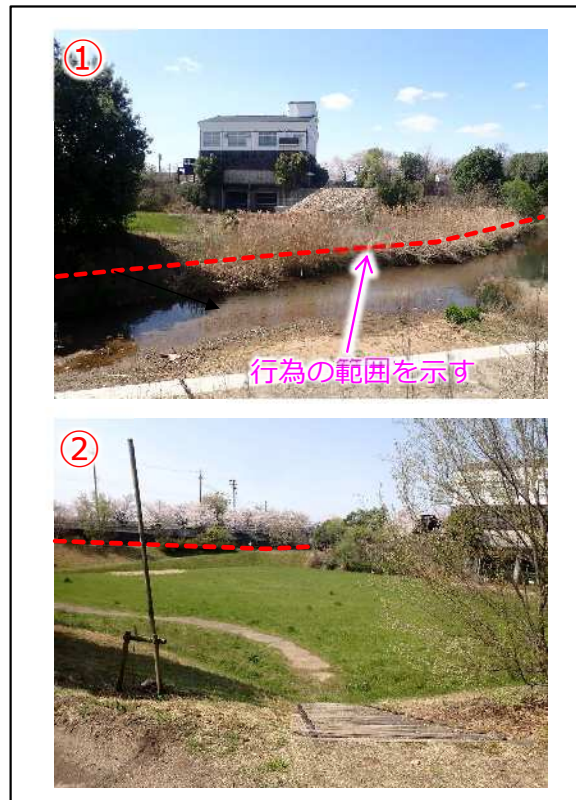
資料-3 現況写真(写真撮影位置図を添付)

※以下の写真は例示である。現況写真は、対象箇所全体が確認できるものを添付すること。

写真位置図



現況写真(1)



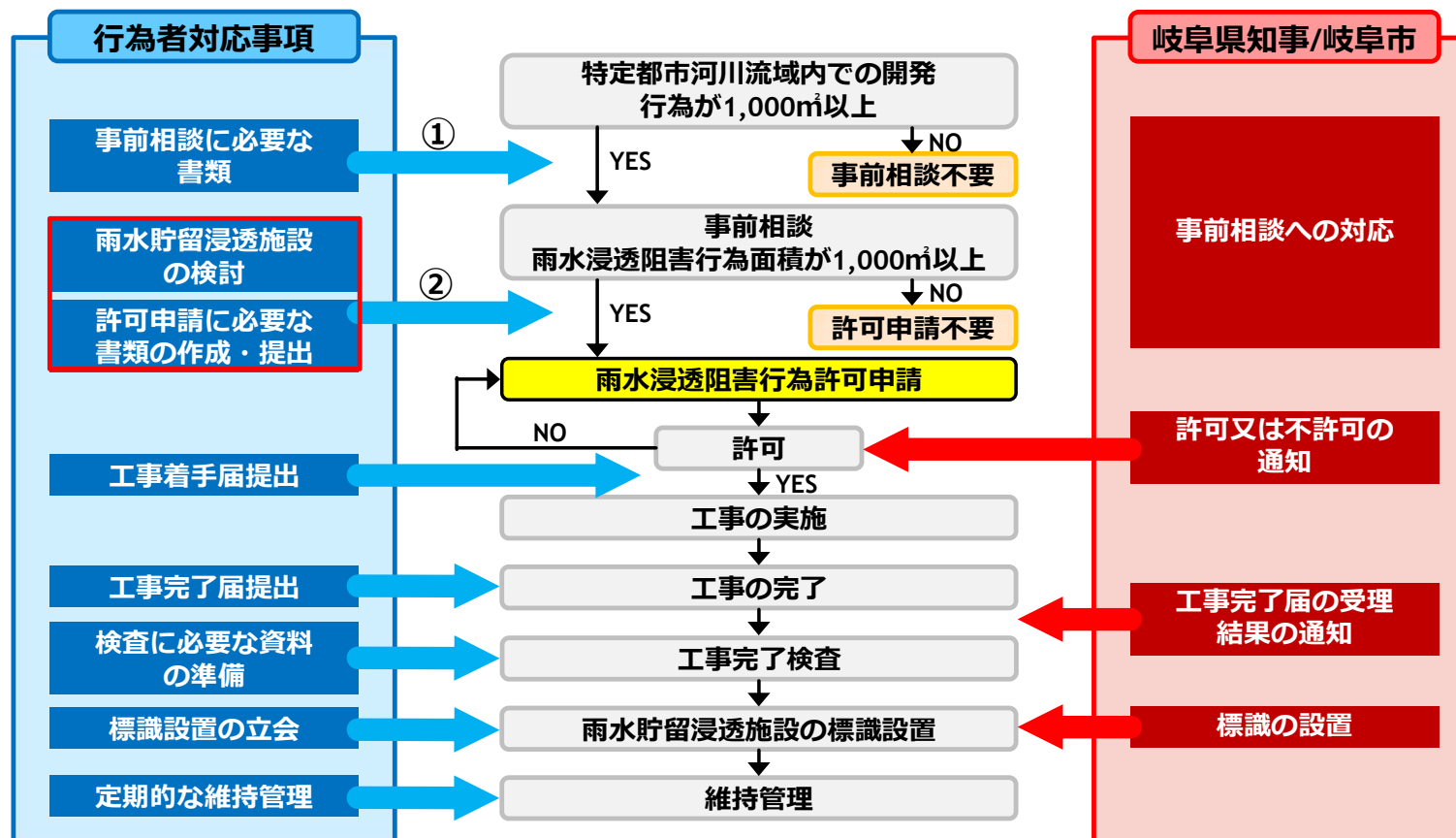
現況写真(2)



2-1.申請フロー（再掲）

1) 許可に係る一般的な手続きについて

雨水浸透阻害行為許可の一般的な手続きの流れは次のとおりである。



2-3.②許可申請

1) 許可申請提出書類及び図面アクセス方法(1)

★岐阜県HPにアクセス

「雨水貯留浸透施設設計・施工技術指針（案）」（右図参照）

<https://www.pref.gifu.lg.jp/page/486252.html>



(4) 雨水貯留浸透施設設計・施工技術指針（案）

(4) 雨水貯留浸透施設設計・施工技術指針（案）

境川流域（岐阜市を除く）においては、以下の技術指針を用いてください。

[雨水浸透阻害行為許可等申請のための雨水貯留浸透施設設計・施工技術指針（案）](#) [PDFファイル/5MB]

事前相談・許可申請にあたっては、以下のチェックリストにより他法令の手続き状況を報告願います。

[他法令手続き調整用チェックリスト](#) [Wordファイル/20KB]

事前相談・許可申請に必要な各種様式のダウンロード（※その他必要な資料は指針5-2をご確認ください）

許可申請に必要な書類は、
 枠のとおりである



必要書類のダウンロード

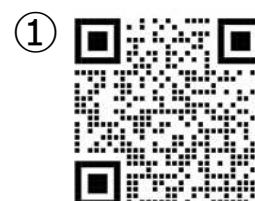
事前相談	許可申請	許可後	様式名	名称
○			様式-7	雨水浸透阻害行為許可事前相談書 [Excelファイル/17KB]
	○		別記様式第二	雨水浸透阻害行為許可申請（協議）書 [Wordファイル/24KB]
	○	●	第1号様式	雨水浸透阻害行為に関する工事及び対策工事の計画説明書 [Wordファイル/30KB]
○	○	●	様式-2	様式-2から様式-6一括ダウンロード [Excelファイル/124KB]
○	○	●	様式-3	上記のとおり
○	○	●	様式-4	上記のとおり
	○	●	様式-5	上記のとおり
	○	●	様式-6	上記のとおり
		●	第2号様式	雨水浸透阻害行為変更許可申請（協議）書 [Wordファイル/26KB]
		●	第3号様式	雨水浸透阻害行為変更届出書 [Wordファイル/24KB]
		○	第4号様式	雨水浸透阻害行為に関する工事着手届出書 [Wordファイル/24KB]
		○	別記様式第三	雨水浸透阻害行為に関する工事完了届出書 [Wordファイル/23KB]
		●	別記様式第四	雨水浸透阻害行為に関する工事廃止届出書 [Wordファイル/22KB]

2-3.②許可申請

1) 許可申請提出書類及び図面アクセス方法(1)

★岐阜県HPにアクセス（右図①参照）

<https://www.pref.gifu.lg.jp/page/486252.html>



(4) 雨水貯留浸透施設設計・施工技術指針（案）

貯留施設の規模の算定にあたっては、以下の国土交通省ホームページより活用可能な調整池容量算定システムを使用してください。

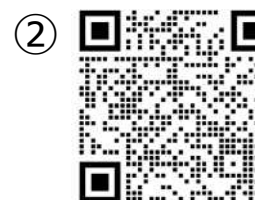
[調整池容量計算システム<外部リンク>](#)

境川流域の基準降雨を入力したエクセルファイルは以下のとおりです。システムを使用する際に雨量強度のシートへ移し替えて使用してください。

[境川流域基準降雨 \[Excelファイル/14KB\]](#)



国土交通省HP（右図②参照）



調整池容量計算システム

貯留池容量計算システムでは、宅地等にするために行う土地の形質の改変などの雨水浸透阻害行為による流出雨水量の増加を抑制するために設置する雨水貯留浸透施設の必要容量等を概算することができます。雨水貯留浸透施設の必要容量等の概算を行う際の参考資料としてご活用ください。

※システムの機能を改善し、Ver2.1.6としてリリースしました。

- [調整池容量計算システムVer2.1.6 ダウンロード](#) **NEW!**
- [許可申請図書様式集](#)
- [ユーザーズマニュアルVer2.1.6](#) (PDF:9.67MB) **NEW!**
- [調整池容量計算の解説～検討フローとExcel操作～](#) (PDF:1.78MB) **NEW!**

枠のダウンロード



貯留施設の規模を算定
システムの入力及び許可申請図書の作成については、
ユーザーズマニュアルを参照

2-3.②許可申請

2) 許可申請提出書類及び図面一覧

許可申請に必要な提出書類及び図面は、下記の表 枠のとおりである。 提出部数：3部（内1部返却用）

【許可申請関係】

○は必要書類（●は内容に応じ必要となる書類）

事前 相談	許可 申請	許可 後	様式名	名称
○	○		様式-7	雨水浸透阻害行為許可事前相談書
	○		別記様式第二	雨水浸透阻害行為許可申請(協議)書
	○	●	第1号様式	雨水浸透阻害行為に関する 事及び対策工事の計画説明書
○	○	●	様式-2	現況土地利用区分面集計表（行為前）
○	○	●	様式-3	計画土地利用区分面集計表（行為後）
○	○	●	様式-4	行為前後の土地利用集計表
	○	●	様式-5	雨水浸透阻害行為前後の平均流出係数
	○	●	様式-6	雨水浸透阻害行為前後の最大雨水流出量
		●	第2号様式	雨水浸透阻害行為変更許可申請（協議）書
		●	第3号様式	雨水浸透阻害行為変更届出書
		○	第4号様式	雨水浸透阻害行為に関する工事着手届出書
		○	別記様式第二	雨水浸透阻害行為に関する工事完了届出書
		●	別記様式第四	雨水浸透阻害行為に関する工事廃止届出書

エクセル
自動計算

【図面関係】

事前 相談	許可 申請	許可 後	様式名	名称
○	○	●	図面-1	行為区域位置図【縮尺 1/50,000以上】
○	○	●	図面-2	行為区域区域図【縮尺 1/2,500以上】
○	○	●	図面-3	現況平面図（行為前）【縮尺 1/2,500以上】
○	○	●	図面-4	現況土地利用区域図（行為前）【縮尺 1/2,500以上】
○	○	●	図面-5	土地利用計画図（行為後）【縮尺 1/2,500以上】
○	○	●	図面-6	土地利用計画区域図（行為後）【縮尺 1/2,500以上】
	○	●	図面-7	排水施設平面位置図【縮尺 1/2,500以上】
	○	●	図面-8	対策工事に係る雨水貯留浸透施設の計画図【縮尺 1/2,500以上】
	○	●	図面-9	雨水貯留浸透施設の形状 雨水貯留浸透施設の構造の寸法（プラスチック製品の寸法正誤書）
	○	●	図面-10	標識設置位置図【縮尺 1/500以上】

【その他資料】

事前 相談	許可 申請	許可 後	様式名	名称
	○	●	資料-1	土地の登記事項を示す書類（全部事項証明書の写し）
	○	●	資料-2	公図の写し
○	○	●	資料-3	現況写真（写真撮影位置図を添付）
	○	●	資料-4	工事工程表（任意様式）
●	●	●	資料-5	その他必要な資料（委任状、印鑑証明の写し、同意書の写し、雨水浸透阻害行為に関する工事の廃止の理由及び廃止に伴う措置を記載した書類）

3) 許可申請提出書類及び図面（参考イメージ）(1)

別記様式第二（第十六条関係）

雨水浸透阻害行為

許可申請書

協議書

←民間事業の場合

←公共事業の場合

※
手数料欄

特定都市河川浸水被害対策法第30条第35条の規定により、雨水浸透阻害行為について許可を申請します。

年 月 日

岐阜県知事 殿

住所 ●市 ●町 ●丁目 ●番地
氏名 ●● ●●

雨水浸透阻害行為等の概要	1 雨水浸透阻害行為の区域に含まれる地域の名称	●市 ●町
	2 雨水浸透阻害行為区域の面積	11,094 平方メートル
	3 雨水浸透阻害行為に関する工事の計画の概要	●●●●●
	4 対策工事の計画の概要	●●●●●
	5 雨水浸透阻害行為に関する工事の着手予定日	●年 ●月 ●日
	6 雨水浸透阻害行為に関する工事の完了予定日	●年 ●月 ●日
	7 対策工事の着手予定日	●年 ●月 ●日
	8 対策工事の完了予定日	●年 ●月 ●日
	9 その他必要な事項	
※受付番号	年 月 日 第 号	
※許可に付した条件		
※許可番号	年 月 日 第 号	

別記

第1号様式（第2条関係）

雨水浸透阻害行為に関する工事及び対策工事の計画説明書

設計者 (法人にあっては、主たる事務所の所在地、名称及び代表者の氏名)	住所	郵便番号 000-0000 電話番号 000-0000-0000 ●市 ●町 ●丁目 ●番地									
	氏名	●● ●●									
雨水浸透阻害行為の区域に含まれる地域の名称	●市 ●町										
雨水浸透阻害行為に関する工事及び対策工事の計画の方針	●●●●●										
行為区域(対策工事に係る雨水貯留浸透施設の集水区域が行為区域の範囲を超えるときは、当該を超える区域を含む。)内の土地の現況	宅地	池沼	水路	ため池	道路(法面無)	道路(法面有)	鉄道線路(法面無)	鉄道線路(法面有)	飛行場(法面無)	飛行場(法面有)	
	(㎡)	(㎡)	(㎡)	(㎡)	(㎡)	(㎡)	(㎡)	(㎡)	(㎡)	(㎡)	
舗装された土地(法面を除く。)	舗装された土地(法面に限る。)	ゴルフ場	運動場	締め固められた土地	山地	植生に覆われた法面	林地・耕地・原野その他	合計			
	(㎡)	(㎡)	(㎡)	(㎡)	(㎡)	(㎡)	(㎡)	11,094 (㎡)	11,094 (㎡)		
行為区域(対策工事に係る雨水貯留浸透施設の集水区域が行為区域の範囲を超えるときは、当該を超える区域を含む。)内の土地利用計画	宅地	池沼	水路	ため池	道路(法面無)	道路(法面有)	鉄道線路(法面無)	鉄道線路(法面有)	飛行場(法面無)	飛行場(法面有)	
	7,275 (㎡)	(㎡)	(㎡)	(㎡)	1,571 (㎡)	(㎡)	(㎡)	(㎡)	(㎡)	(㎡)	
舗装された土地(法面を除く。)	舗装された土地(法面に限る。)	ゴルフ場	運動場	締め固められた土地	山地	植生に覆われた法面	林地・耕地・原野その他	合計			
	2,248 (㎡)	(㎡)	(㎡)	(㎡)	(㎡)	(㎡)	(㎡)	(㎡)	11,094 (㎡)		
対策工事に係る雨水貯留浸透施設の計画	行為前の流出係数	0.200					行為後の流出係数	0.910			
	行為前の流出雨水量	0.085 (㎡/秒)					行為後の流出雨水量	0.388 (㎡/秒)			
	雨水貯留浸透施設の計画	名称		容量又は規模及び構造				管理者(帰属先)			
		●●		0.303㎡/秒				●●			
その他											

様式-2→
参照

様式-3→
参照

様式-4~6
参照→

2-3.②許可申請

3) 許可申請提出書類及び図面 (参考イメージ) (2)

許可申請に必要な書類の様式-2【再掲】と図面3,4【再掲】は以下のとおりである。
様式-2は、行為前の土地利用別に面積を記入する (※面積はha(ヘクタール)で入力)

現況土地利用区分面積集計表 (行為前)

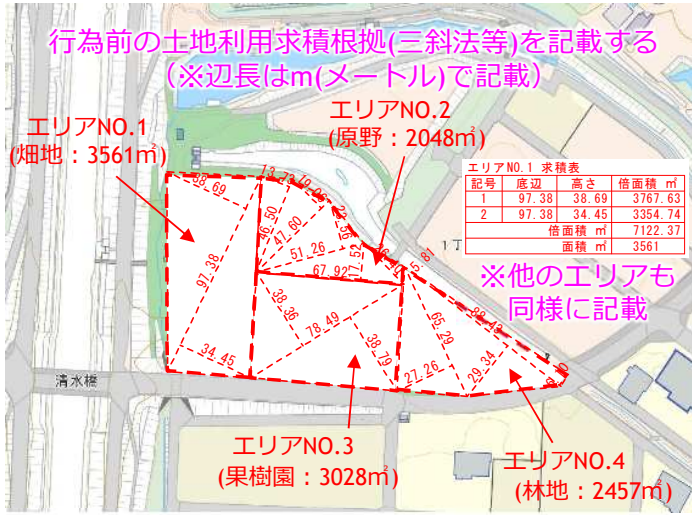
様式-2

エリア No	宅地等										舗装された土地		その他土地からの流出雨 水量を増加させるおそれ のある行為に係る土地				左記以外の土地			
	宅地	池沼	水路	ため池	道路 （法面 を有し ないも のに限 る。）	道路 （法面 を有す るもの に限る。）	鉄道線 路（法 面を有 しない ものに 限る。）	鉄道線 路（法 面を有 するもの に限る。）	飛行場 （法面 を有し ないもの に限る。）	飛行場 （法面 を有す るもの に限る。）	コンク リート 等の不 浸透性 の材料 により 覆われ た土地 （法面 を除く）	コンク リート 等の不 浸透性 の材料 により 覆われ た法面	ゴルフ 場（雨 水を排 除する ための 排水施 設を伴 うもの）	運動場 その他 これに 類する 施設 （雨水 を排除 するた めの排 水施設 を伴う ものに 限る）	ロー ラーそ の他こ れに類 する建 設機械 を用い て締め 固めら れた土 地	山地	人工的 に造成 された 植生に 覆われ た法面	林地、 耕地、 原野そ の他 ロー ラーそ の他こ れに類 する建 設機械 を用い ていな い土地		
1																			0.3561	
2																			0.2048	
3																			0.3028	
4																			0.2457	
5																				
小計 1																			1.1094	
小計 2																	1.1094			
合 計	1.1094																			

(単位 : ha)



図面-3 現況平面図(行為前)【縮尺1/2,500以上】



図面-4 現況土地利用求積図(行為前)【縮尺1/2,500以上】

2-3.②許可申請

3) 許可申請提出書類及び図面 (参考イメージ) (3)

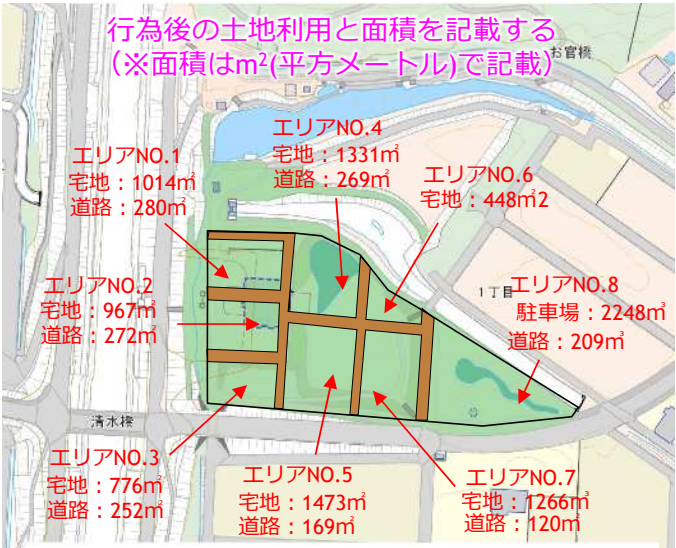
許可申請に必要な書類の様式-3【再掲】と図面5,6【再掲】は以下のとおりである。
様式-3は、行為後の土地利用別に面積を記入する (※面積はha(ヘクタール)で入力)

計画土地利用区分面積集計表 (行為後)

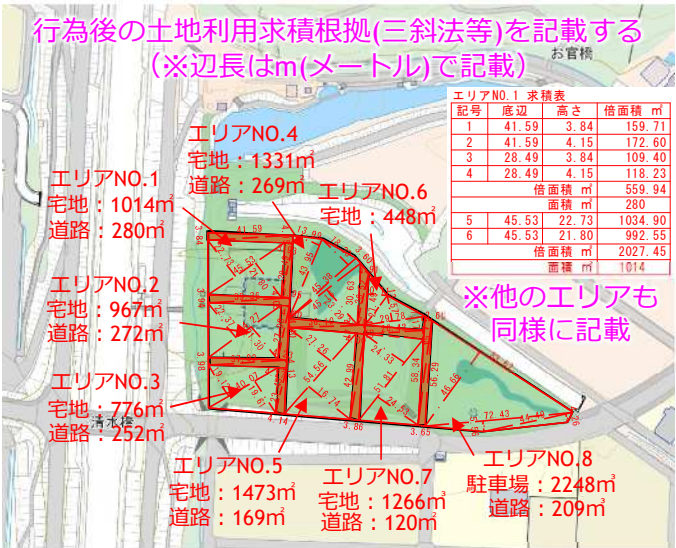
様式-3

エリア No	宅地等										舗装された土地		その他土地からの流出雨 水量を増加させるおそれ のある行為に係る土地				左記以外の土地		
	宅地	池沼	水路	ため池	道路 （法面 を有し ないも のに限 る。）	道路 （法面 を有す るもの に限る。 ）	鉄道線 路（法 面を有 しない ものに 限る。）	鉄道線 路（法 面を有 するも のに限 る。）	飛行場 （法面 を有し ないも のに限 る。）	飛行場 （法面 を有す るもの に限る。 ）	コンク リート 等の不 浸透性 の材料 により 覆われ た土地 （法面 を除く）	コンク リート 等の不 浸透性 の材料 により 覆われ た法面	ゴルフ 場（雨 水を排 除する ための 排水施 設を伴 うもの）	運動場 その他 これに 類する 施設 （雨水 を排除 するた めの排 水施設 を伴う ものに 限る）	ロー ラーそ の他こ れに類 する建 設機械 を用い て締め 固めら れた土 地	山地	人工的 に造成 された 植生に 覆われ た法面	林地、 耕地、 原野そ の他ロー ラーそ の他これ に類する 建設機械 を用いて いない土地	
1	0.1014				0.0280														
2	0.0967				0.0272														
3	0.0776				0.0252														
4	0.1331				0.0269														
5	0.1473				0.0169														
6	0.0448																		
7	0.1266				0.0120														
8					0.0209						0.2248								
小計 1	0.7275				0.1571						0.2248								
小計 2	0.8846										0.2248								
合 計	1.1094																		

(単位: ha)



図面-5 土地利用計画図(行為後)【縮尺1/2,500以上】



図面-6 土地利用計画求積図(行為後)【縮尺1/2,500以上】

2-3.②許可申請

3) 許可申請提出書類及び図面（参考イメージ）(4)

許可申請に必要な書類の様式-4【再掲】は以下のとおりである。

様式-4は、エクセルの様式-2及び様式-3を記入すれば自動的に記入される

行為前後の土地利用集計表

様式-4

土地利用区分		①欄 様式-2	②欄 様式-3	③欄	④欄	参考	備 考
土 地 利 用 区 分		現況土地利用 面積 (㎡) ①	計画土地利用 面積 (㎡) ②	面積差 (㎡)	雨水浸透阻害行為の当該面積	流出係数	
		様式-2 小計1の欄	様式-3 小計1の欄	②-①	③欄が(+)の場合、原則該当 該当の場合面積 (㎡) を記入		
宅地等	宅 地		7275.0000	7275.0000	7275.0000	0.90	宅地等の区 分同士の増 減は対象と しない。
	池 沼					1.00	
	水 路					1.00	
	た め 池					1.00	
	道路（法面を有しないものに限る。）		1571.0000	1571.0000	1571.0000	0.90	
	道路（法面を有するものに限る。）					加重平均	
	鉄道線路（法面を有しないものに限る。）					0.90	
	鉄道線路（法面を有するものに限る。）					加重平均	
	飛行場（法面を有しないものに限る。）					0.90	
	飛行場（法面を有するものに限る。）					加重平均	
小 計			8846.0000	8846.0000	8846.0000		
舗装された土 地	コンクリート等の不透透性の材料により覆われた土地（法面を除く）		2248.0000	2248.0000	2248.0000	0.95	
	コンクリート等の不透透性の材料により覆われた法面					1.00	
	小 計		2248.0000	2248.0000	2248.0000		
その他土地から の流出雨水 量を増加させ るおそれのある 行為に係る 土地	ゴルフ場（雨水を排除するための排水施設を伴うもの）					0.50	
	運動場その他これに類する施設（雨水を排除するための排水施設を伴うものに限る。）					0.80	
	ローラーその他これに類する建設機械を用いて締め固められた土地					0.50	
	小 計						
上記に掲げる 土地以外の土 地	山 地					0.30	
	人工的に造成された植生に覆われた法面					0.40	
	林地、耕地、原野その他ローラーその他これに類する建設機械を用いていない土地	11094.0000		-11094.0000		0.20	
	小 計	11094.0000		-11094.0000			
合 計			11094.0000	11094.0000	11094.0000		

(-) の欄は記載不要 (単位: ㎡)

④欄の合計 11094.0000 ㎡

1,000㎡ (0.1ha) 以上の場合、申請の対象

2-3.②許可申請

3) 許可申請提出書類及び図面 (参考イメージ) (5)

許可申請に必要な書類の様式-5は以下のとおりである。

行為前後の面積は様式-2及び様式-3を記入すれば自動に記入される

様式-5

雨水浸透阻害行為前後の平均流出係数

●市 ●町

行為区域位置

行為面積1.1094ha

行為前後の土地利用区分

区分		土地利用の形態の細区分	流出係数	行為前面積 (ha)	行為後面積 (ha)
宅 地 等 に 該 当 す る 土 地	第 1 号 関 連	宅地	0.90		0.7275
		池沼	1.00		
		水路	1.00		
		ため池	1.00		
		道路(法面を有しないもの)	0.90		0.1571
		道路(法面を有するもの)			
		鉄道線路(法面を有しないもの)	0.90		
		鉄道線路(法面を有するもの)			
		飛行場(法面を有しないもの)	0.90		
		飛行場(法面を有するもの)			
宅 地 等 以 外 の 土 地	関 第 2 連 号	不浸透性材料により舗装された土地 (法面を除く)	0.95		0.2248
		不浸透性材料により覆われた法面	1.00		
	第 3 号 関 連	ゴルフ場(雨水を排除するための排水 施設を伴うものに限る)	0.50		
		運動場その他これに類する施設(雨水 を排除するための排水施設を伴うもの に限る)	0.80		
		ローラーその他これに類する建設機械 を用いて締め固められた土地	0.50		
	土 第 上 地 3 記 以 号 第 外 に 1 の 掲 号 土 げ か ら	山地	0.30		
		人工的に造成され植生に覆われた法面	0.40		
		林地、耕地、原野その他ローラーその 他これに類する建設機械を用いて締め 固められていない土地	0.20	1.1094	
そ の 他					
面積計				1.1094	1.1094
平均流出係数				0.200	0.910

※ 様式-2、様式-3、図面-3、-4、-5、-6参照

←調整池容量計算システム
(ｼｰﾄ：流出係数算出)の値を入力

2-3.②許可申請

3) 許可申請提出書類及び図面 (参考イメージ) (6)

許可申請に必要な書類の様式-6は以下のとおりである。

様式-6

雨水浸透阻害行為前後の最大流出雨水量

$$\text{合理式} \quad Q = 1/360 \cdot f \cdot r \cdot A$$

Q: 流量 (m³/s)
f: 流出係数 (様式-5より)
r: 最大降雨強度(10分間) (mm/h)
A: 集水面積 (ha) (様式-4より)

技術指針P3-8
表3-4-1降雨強度

138.39 (mm/h)

様式-5の値から自動計算

① 行為前の最大雨水流出量

$$Q = 1/360 \times 0.200 \times 138.39 \times 1.1094 = 0.08529 \text{ m}^3/\text{s}$$

② 行為後の最大雨水流出量

$$Q = 1/360 \times 0.910 \times 138.39 \times 1.1094 = 0.38815 \text{ m}^3/\text{s}$$

よって,

$$0.38815 \text{ m}^3/\text{s} - 0.08529 \text{ m}^3/\text{s} = 0.30286 \text{ m}^3/\text{s}$$

0.30286 m³/s分をカットする対策が必要。

調整池容量計算システムについて
P.31以降で説明

政令第9条第1項に規定する技術的基準に適合することを証する書類

様式-6

流出抑制施設諸元

調整池諸元			
放流口径(2段オリフィスの場合は、上・下段の両諸元を記載)			
放流口径形状	形状	円形	上段(2段オリフィスの場合)
	直径	0.170	
	高さ		
	幅		
管底位置(池底から)			
		0.000	

調整池諸元			
ポンプ諸元(ポンプ排水を用いた場合)			
H	V	H	Q
0.000	0.00		
2.000	550.00		

←許可申請図書

国土交通省調整池容量計算システムから
許可申請書を出し、
シート: 3.調整池諸元の値を入力

【浸透トレンチ】			
浸透長さ(m)	単位設計透水量(m ³ /hr/m)	設置数量(m)	影響係数
	比透水量(m ³ /hr)		(1) (2) (3)
			内容(1) 内容(2) 内容(3)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

調整池諸元

放流口径(2段オリフィスの場合は、上・下段の両諸元を記載)

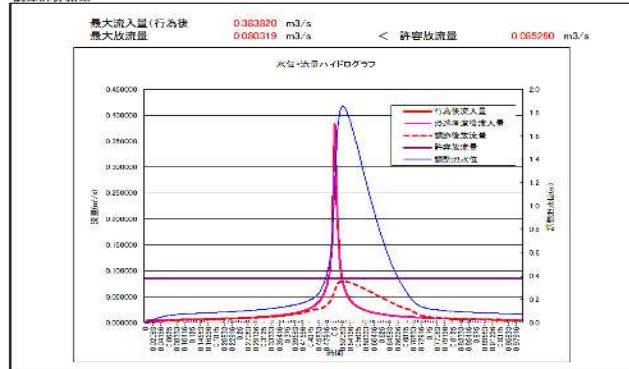
調整池諸元			
放流口径(2段オリフィスの場合は、上・下段の両諸元を記載)			
放流口径形状	形状	円形	上段(2段オリフィスの場合)
	直径	0.170	
	高さ		
	幅		
管底位置(池底から)			
		0.000	

調整池諸元			
ポンプ諸元(ポンプ排水を用いた場合)			
H	V	H	Q
0.000	0.00		
2.000	550.00		

【浸透トレンチ】			
浸透長さ(m)	単位設計透水量(m ³ /hr/m)	設置数量(m)	影響係数
	比透水量(m ³ /hr)		(1) (2) (3)
			内容(1) 内容(2) 内容(3)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

【浸透トレンチ】			
浸透長さ(m)	単位設計透水量(m ³ /hr/m)	設置数量(m)	影響係数
	比透水量(m ³ /hr)		(1) (2) (3)
			内容(1) 内容(2) 内容(3)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

調節計算結果



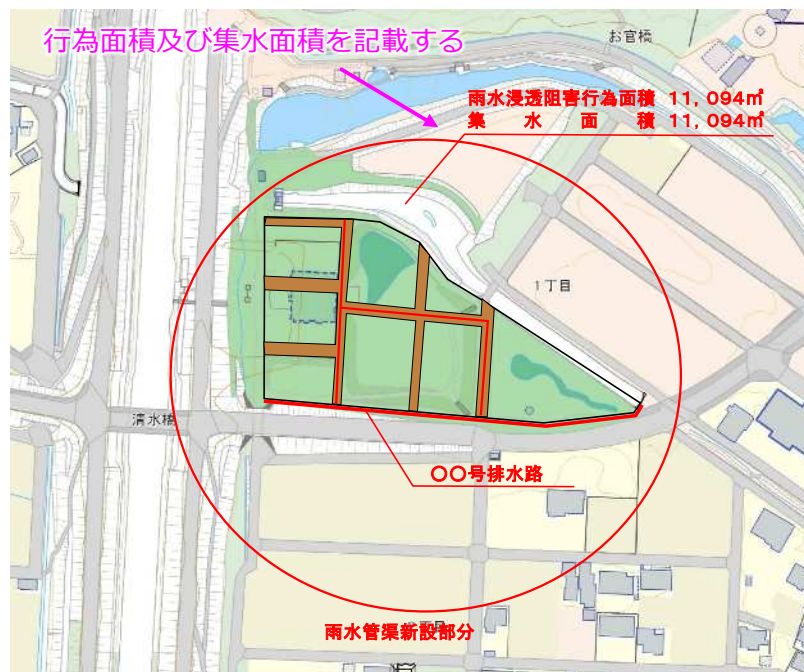
←許可申請図書

シート: 3.調節計算結果の
グラフを添付

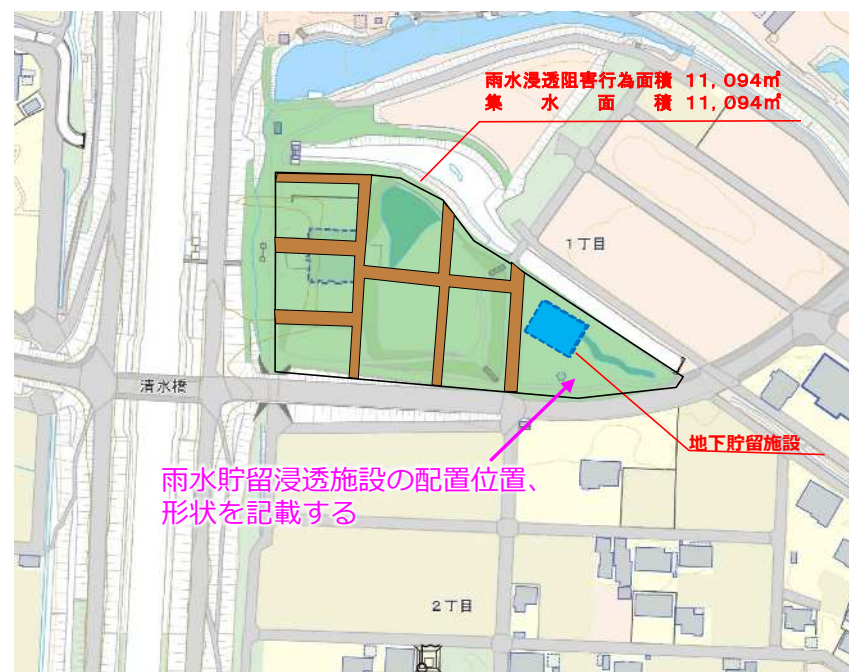
2-3.②許可申請

3) 許可申請提出書類及び図面（参考イメージ）(7)

許可申請に必要な図面-7,8（参考イメージ図）は以下のとおりである。



図面-7 排水施設計画平面図【縮尺1/2,500以上】



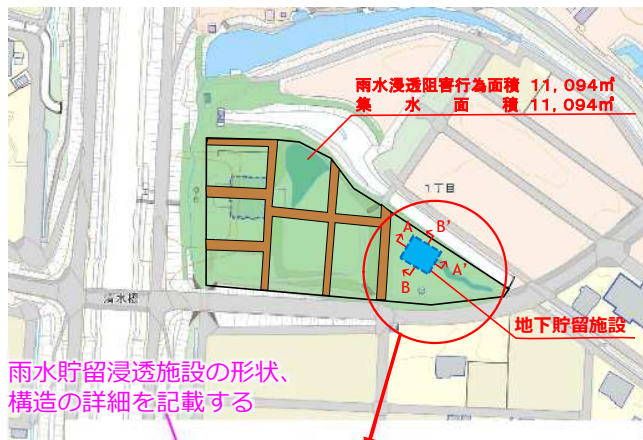
図面-8 対策工事に係わる雨水貯留浸透施設の計画図【縮尺1/2,500以上】

2-3.②許可申請

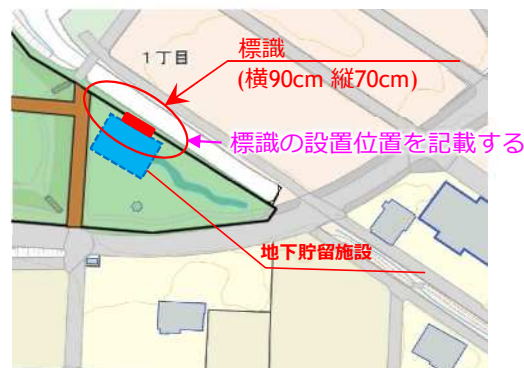
3) 許可申請提出書類及び図面 (参考イメージ) (8)

許可申請に必要な図面-9,10 (参考イメージ図) は以下のとおりである。

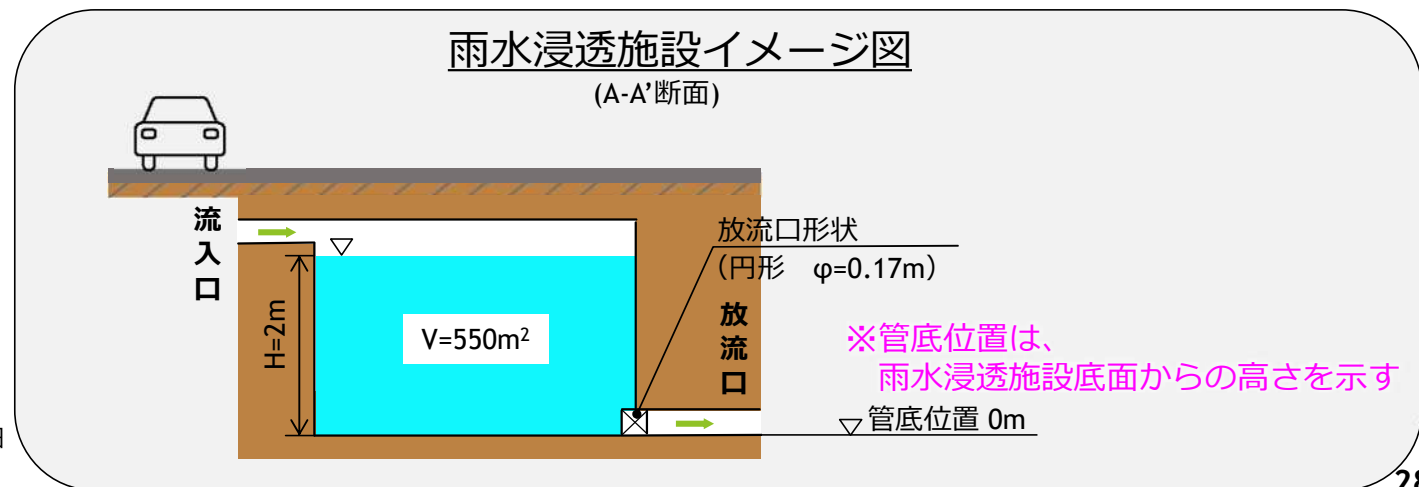
ただし、図面-10においては、雨水浸透阻害行為許可の完了検査に合格した場合に提出するものとする。



図面-9 雨水貯留浸透施設の形状、雨水貯留浸透施設の構造の詳細



図面-10 標識設置位置図【縮尺1/500以上】



2-3.②許可申請

4) 許可申請提出その他資料

許可申請に必要なその他資料は以下のとおりである。

資料- 1 土地登記事項を示す書類(全部事項証明書の写し)

資料- 2 公図の写し

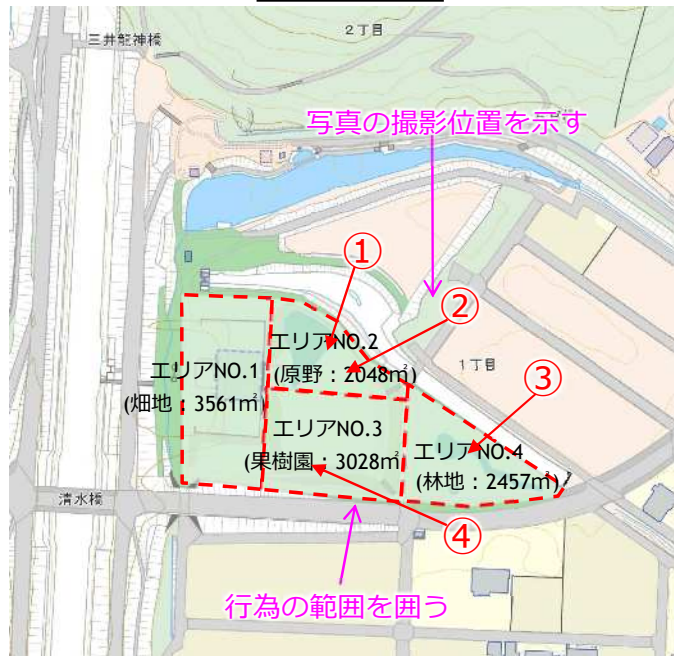
資料- 3 現況写真(写真撮影位置図を添付) 【再掲】

法務局にて取得

※以下の写真は例示である。現況写真は、対象箇所全体が確認できるものを添付すること。

資料-3 現況写真【再掲】

写真位置図



現況写真(1)



現況写真(2)



2-3.②許可申請

4) 許可申請提出その他資料

許可申請に必要なその他資料は以下のとおりである。

資料-4 工事工程表(任意様式)

資料-4 工事工程表（イメージ）

[illegible]

5) 調整池容量計算の解説

●参照URL（国土交通省ホームページ）

https://www.mlit.go.jp/river/shishin_guideline/kasen/chouseichi/index.html

概略計算と詳細計算

調整池容量計算システムの全体像

Step1:概略計算

①流出係数の設定

※該当シート:「浸透係数算出」

- ・行為前・行為後の面積の設定
- ・行為前・行為後の流出係数の設定

②流出計算(許容放流量の設定)

※該当シート:「降雨強度」「流入量定義」「01流出計算」

- ・対象降雨の設定、流出計算の実施
または
- ・行為後流入量の設定
↓
- ・許容放流量の設定

③浸透能力の設定

※該当シート:「浸透施設能力」「浸透施設比浸透量」

- ・浸透計算手法の選択
 - ・浸透施設なし
 - ・浸透施設あり
 - ・浸透施設あり(道路管理者用)

④調整池容量の概算

※該当シート:「02流出計算」「03調整池容量の概算」

- ・浸透計算の実施、流出計算の実施
- ・調整池高の設定
- ・調整池概算容量の算出

いずれの施設に対しても実施する検討部分

Step2:詳細計算

①調節計算(自然調節方式)

※該当シート:「04-①調節計算(自然調節方式)」

- ・水深/容量(H-V)データの設定
- ・放流口形状・諸元の設定
- ・調整計算の実施

☞雨水浸透阻害行為の許可基準に対する評価

調節計算(2段)

※該当シート:「04-②調節計算(2段)」

- ・水深/容量(H-V)データの設定
- ・許容放流量(上段・下段)の設定
- ・放流口形状・諸元(上段・下段)の設定
- ・調整計算の実施

☞雨水浸透阻害行為の許可基準に対する評価

調節計算(ポンプ)

※該当シート:「04-③調節計算(ポンプ)」

- ・水深/容量(H-V)データの設定
- ・水深/ポンプ規模(H-Q)データの設定
- ・調整計算の実施

☞雨水浸透阻害行為の許可基準に対する評価

施設の放流形式によりいずれかを選択して検討する部分

- ・調整池容量計算システムは、**前半の「概略計算」シートと、後半の「詳細計算」シート**があります。
- ・「概略計算」はいずれの施設に対しても実施する必要があります。
- ・「概略計算」は、以下の順番に進め、それぞれのシートを使用します。

- ・「流出係数算出」
- ・「降雨強度」
- ・「01流出計算(Q-Tグラフ)」
- ・「浸透施設能力」 ※浸透施設がある場合
- ・「02流出計算(QT-Sグラフ)」
- ・「03-①調整池容量の概算」

「流入量定義」シートは、調整池への流入量を別途設定する場合に利用します(雨水浸透阻害行為では使用しません。)

Step1:概略計算

①流出係数の設定

どれだけの土地利用を変えたか

流出係数算定結果			行為前	行為後
			0.200	0.910
雨水浸透阻害行為の技術基準として設定する流出係数				
区分	土地利用の形態の細区分	流出係数	行為前面積 (ha)	行為後面積 (ha)
計		—	1.1094	1.1094
宅地等に該当する土地	第1号開墾地			
	宅地	0.90		0.7275
	池沼	1.00		
	水路	1.00		
	ため池	1.00		
	道路(法面を有しないもの)	0.90		0.1571
	道路(法面を有するもの)			
	鉄道線路(法面を有しないもの)	0.90		
	鉄道線路(法面を有するもの)			
	飛行場(法面を有しないもの)	0.90		
	飛行場(法面を有するもの)			
	太陽光パネル	0.90		
宅地等以外の土地	第2号開墾地			
	不透水性材料により舗装された土地(法面を除く)	0.95		0.2248
	不透水性材料により覆われた法面	1.00		
	ゴルフ場(雨水を排除するための排水施設を伴うものに限る)	0.50		
	運動場その他これに類する施設(雨水を排除するための排水施設を伴うものに限る)	0.80		
	ローラーその他これに類する建設機械を用いて締め固められた土地	0.50		
	山地	0.30		
	人工的に造成され植生に覆われた法面	0.40		
上記第1号から第3号に掲げる土地以外の土地	林地、耕地、原野その他ローラーその他これに類する建設機械を用いて締め固められていない土地	0.20	1.1094	

雨水浸透阻害行為前の面積
雨水浸透阻害行為後の面積

「流出係数算出」シート

- 「流出係数」は、降雨が流域からどれだけ流出するかを示す無次元の係数です。

雨水浸透阻害行為前

雨水浸透阻害行為後



流出量 小
(=許容放流量)



流出量 大

例えば、
流出係数=0.2

降った雨の20%が流出
することを意味します

流出係数=0.9

降った雨の90%が流出
することを意味します



Step1:概略計算

②流出計算(許容放流量の設定)

どんな雨が対象なのか

※降雨は対象地域の降雨に変更して下さい

時	分	降雨量 (mm/h)	時	分	降雨量 (mm/h)	時	分	降雨量 (mm/h)	時	分	降雨量 (mm/h)
0	0	1.5198	8	0	3.5364	12	0	75.3294	16	0	3.2126
10	0	1.9356	10	0	3.4474	10	20	41.4812	10	20	3.2013
20	0	1.9580	20	0	3.5530	20	30	26.9889	20	30	3.1336
30	0	1.9810	30	0	3.6434	30	40	22.4406	30	40	3.0689
40	0	2.0040	40	0	3.7393	40	50	18.3032	40	50	3.0072
50	0	2.0268	50	0	3.8410	50	00	15.8385	50	00	2.9483
1	0	2.0536	7	0	3.9492	13	0	13.8383	19	0	2.8919
10	20	2.0794	10	20	4.0545	10	20	12.1205	10	20	2.8379
20	30	2.1056	20	30	4.1677	20	30	10.9282	20	30	2.7682
30	40	2.1330	30	40	4.2868	30	40	9.9614	30	40	2.7385
40	50	2.1610	40	50	4.4113	40	50	9.1852	40	50	2.6886
50	00	2.1896	50	00	4.5438	50	00	8.4063	50	00	2.6430
2	0	2.2196	0	10	4.7768	14	0	7.9282	20	0	2.5890
10	20	2.2503	10	20	4.8972	10	20	7.4341	10	20	2.5664
20	30	2.2818	20	30	5.0154	20	30	7.0047	20	30	2.5155
30	40	2.3146	30	40	5.1636	30	40	6.6297	30	40	2.4791
40	50	2.3484	40	50	5.3063	40	50	6.2912	40	50	2.4380
50	00	2.3832	50	00	5.5229	50	00	5.9913	50	00	2.4012
3	0	2.4196	9	0	6.1372	19	0	5.7214	21	0	2.3677
10	20	2.4568	10	20	6.4541	10	20	5.4772	10	20	2.3314
20	30	2.4956	20	30	6.8099	20	30	5.2591	20	30	2.2881
30	40	2.5356	30	40	7.2123	30	40	5.0522	30	40	2.2690
40	50	2.5775	40	50	7.6714	40	50	4.8680	40	50	2.2348
50	00	2.6207	50	00	8.2001	50	00	4.6946	50	00	2.2076
4	0	2.6657	10	0	8.8169	18	0	4.5381	22	0	2.1753
10	20	2.7125	10	20	9.5452	10	20	4.3892	10	20	2.1489
20	30	2.7611	20	30	10.4195	20	30	4.2525	20	30	2.1193
30	40	2.8118	30	40	11.4367	30	40	4.1251	30	40	2.0825
40	50	2.8647	40	50	12.5315	40	50	4.0059	40	50	2.0485
50	00	2.9180	50	00	14.5555	50	00	3.8942	50	00	2.0142
5	0	2.9735	11	0	16.8968	17	0	3.7864	23	0	2.0108
10	20	3.0377	10	20	20.2040	10	20	3.6906	10	20	1.9827
20	30	3.1009	20	30	26.2755	20	30	3.5975	20	30	1.9694
30	40	3.1670	30	40	34.0702	30	40	3.5096	30	40	1.9467
40	50	3.2365	40	50	33.2509	40	50	3.4261	40	50	1.9246
50	00	3.3085	50	00	36.3889	50	00	3.3475	50	00	1.9031

雨水浸透阻害行為で使します



境川流域基準降雨のデータを貼付ける
※境川流域基準降雨データは県HPに記載（資料P.18）

「降雨強度」シート

- 雨水浸透阻害降雨の対象降雨を入力します。
- 都道府県知事等が公示する基準降雨は、確率年を10年、降雨波形を中央集中型、洪水到達時間を10分、降雨継続時間を24時間とし、既存の降雨観測記録から降雨継続時間と降雨強度の関係について統計処理して適切に設定することを標準としています。
⇒都道府県ごとに決まっています。
(入力するだけです)

降雨強度式

降雨強度式の選択

- ☐ タルボット式 $I = a / (t + b)$
- ☐ シヤーマン式 $I = a / t^n$
- ☐ 久野・石黒 $I = a / (t^{0.5} + b)$
- ☐ クリーブランド $I = a / (t^n + b)$
- ☐ 久野・石黒変形 任意のn

降雨強度式

a 1871.640

b 7.770

n 0.760

波形の選択

- ☐ 中央集中型
- ☐ 後方集中型

計算実行

雨水浸透阻害行為
では使用しません

Step1:概略計算

②流出計算(許容放流量の設定)

流出量を算出

①行為面積を入力

②ボタンを押す

③ボタンを押す

雨水浸透阻害行為前
(最大値が許容放流量)
雨水浸透阻害行為後

流出計算の実行

行為面積 ha

降雨量
※「降雨強度」シートに基準降雨を入力してください。(都道府県知事等により
公示されている「基準降雨」の値に変更してください。)

流出係数
行為前 流出係数
行為後

※「流出係数算出」シートで算出した係数が入力されていますが、必要に
応じて調整(増減)を行うことができます。

流出計算結果の指定

※「流入量定義」シートに計算された流
出計算結果(行為後)を入力してくだ
さい。

許容放流量 m³/s

計算実行

時刻	行為前入量	行為後入量	降雨強度
0:00	0.000000	0.000000	
0:10	0.001180	0.005370	1.9138
0:20	0.001190	0.005430	1.9358
0:30	0.001210	0.005490	1.9580
0:40	0.001220	0.005560	1.9810
0:50	0.001240	0.005620	2.0046
1:00	0.001250	0.005690	2.0288
1:10	0.001270	0.005760	2.0538
1:20	0.001280	0.005830	2.0794
1:30	0.001300	0.005900	2.1058
1:40	0.001310	0.005970	2.1330
1:50	0.001330	0.006040	2.1610
2:00	0.001370	0.006220	2.1898
2:10	0.001390	0.006310	2.2196
2:20	0.001390	0.006310	2.2503
2:30	0.001400	0.006310	2.2819
2:40	0.001400	0.006310	2.3146
2:50	0.001400	0.006310	2.3484
3:00	0.001400	0.006310	2.3832
3:10	0.001400	0.006310	2.4190
3:20	0.001400	0.006310	2.4558
3:30	0.001400	0.006310	2.4936
3:40	0.001400	0.006310	2.5324
3:50	0.001400	0.006310	2.5722
4:00	0.001400	0.006310	2.6130
4:10	0.001400	0.006310	2.6548
4:20	0.001400	0.006310	2.6976
4:30	0.001400	0.006310	2.7414
4:40	0.001400	0.006310	2.7862
4:50	0.001400	0.006310	2.8320
5:00	0.001400	0.006310	2.8788
5:10	0.001400	0.006310	2.9266
5:20	0.001400	0.006310	2.9754
5:30	0.001400	0.006310	3.0252
5:40	0.001400	0.006310	3.0760
5:50	0.001400	0.006310	3.1278
6:00	0.001400	0.006310	3.1806
6:10	0.001400	0.006310	3.2344
6:20	0.001400	0.006310	3.2892
6:30	0.001400	0.006310	3.3450
6:40	0.001400	0.006310	3.4018
6:50	0.001400	0.006310	3.4596
7:00	0.001400	0.006310	3.5184
7:10	0.001400	0.006310	3.5782
7:20	0.001400	0.006310	3.6390
7:30	0.001400	0.006310	3.6998

雨水浸透阻害行為前
では使用しません

流出量 (m³/s)

「01流出計算(Q-Tグラフ)」シート

雨水浸透阻害行為前

雨水浸透阻害行為後



流出量 小
(=許容放流量)



流出量 大

土地利用 × 降雨
= 流出量

- 流出係数と基準降雨が決まったので、行為区域からの流出量が計算されます。

- 雨水浸透阻害行為の面積を入力
- 「流出係数」ボタンを押す
→ 「流出係数算出」シートの結果を反映
- 「計算実行」ボタンを押す

- 雨水浸透阻害行為前の流出量の最大値が、「許容放流量」になります。

Step1:概略計算

③浸透能力の設定

浸透施設を設置する場合

浸透施設能力算定結果

浸透マス	浸透トレンチ	透水性舗装	その他	浸透施設能力算定結果
0.00	0.00	0.00		0.00 m^3/hr
(間接リア全体に対する全浸透施設の浸透能力) 0 m^3/hr				

条件設定

単位設計浸透量($m^3/hr/単位$)				
【浸透マス】	北浸透量(m)	飽和透水係数	影響係数	
		(単位)	(1)	(2)
施設1	単位	0.000	0.00	0.00
施設2	単位	0.000	0.00	0.00
施設3	単位	0.000	0.00	0.00
施設4	単位	0.000	0.00	0.00
施設5	単位	0.000	0.00	0.00
施設6	単位	0.000	0.00	0.00
施設7	単位	0.000	0.00	0.00
施設8	単位	0.000	0.00	0.00
施設9	単位	0.000	0.00	0.00
施設10	単位	0.000	0.00	0.00

単位設計浸透量($m^3/hr/単位$)				
【浸透トレンチ】	北浸透量(m)	飽和透水係数	影響係数	
		(単位)	(1)	(2)
施設1	単位	0.000	0.00	0.00
施設2	単位	0.000	0.00	0.00
施設3	単位	0.000	0.00	0.00
施設4	単位	0.000	0.00	0.00
施設5	単位	0.000	0.00	0.00
施設6	単位	0.000	0.00	0.00
施設7	単位	0.000	0.00	0.00
施設8	単位	0.000	0.00	0.00
施設9	単位	0.000	0.00	0.00
施設10	単位	0.000	0.00	0.00

単位設計浸透量($m^3/hr/単位$)				
【透水性舗装】	北浸透量(m)	飽和透水係数	影響係数	
		(単位)	(1)	(2)
施設1	単位	0.000	0.00	0.00
施設2	単位	0.000	0.00	0.00
施設3	単位	0.000	0.00	0.00
施設4	単位	0.000	0.00	0.00
施設5	単位	0.000	0.00	0.00
施設6	単位	0.000	0.00	0.00
施設7	単位	0.000	0.00	0.00
施設8	単位	0.000	0.00	0.00
施設9	単位	0.000	0.00	0.00
施設10	単位	0.000	0.00	0.00

単位設計浸透量($m^3/hr/単位$)				
【その他】	北浸透量(m)	飽和透水係数	影響係数	
		(単位)	(1)	(2)
施設1	単位	0.000	0.00	0.00
施設2	単位	0.000	0.00	0.00
施設3	単位	0.000	0.00	0.00
施設4	単位	0.000	0.00	0.00
施設5	単位	0.000	0.00	0.00
施設6	単位	0.000	0.00	0.00
施設7	単位	0.000	0.00	0.00
施設8	単位	0.000	0.00	0.00
施設9	単位	0.000	0.00	0.00
施設10	単位	0.000	0.00	0.00

空隙貯留量算定結果

浸透マス	浸透トレンチ	透水性舗装	その他
0.000	0.000	0.000	0.000

条件設定

【浸透マス】	空隙貯留量	空隙率
(単位あたり)	(m^3)	(%)
施設1		
施設2		
施設3		
施設4		
施設5		
施設6		
施設7		
施設8		
施設9		
施設10		

【浸透トレンチ】	空隙貯留量	空隙率
(単位あたり)	(m^3)	(%)
施設1		
施設2		
施設3		
施設4		
施設5		
施設6		
施設7		
施設8		
施設9		
施設10		

【透水性舗装】	空隙貯留量	空隙率
(単位あたり)	(m^3)	(%)
施設1		
施設2		
施設3		
施設4		
施設5		
施設6		
施設7		
施設8		
施設9		
施設10		

【その他】	空隙貯留量	空隙率
(単位あたり)	(m^3)	(%)
施設1		
施設2		
施設3		
施設4		
施設5		
施設6		
施設7		
施設8		
施設9		
施設10		

「浸透施設能力」シート

- 流出抑制対策として浸透施設の設置を予定している場合に使用するシートです。
- 浸透施設を考慮すると、行為後の流出量が軽減されます。

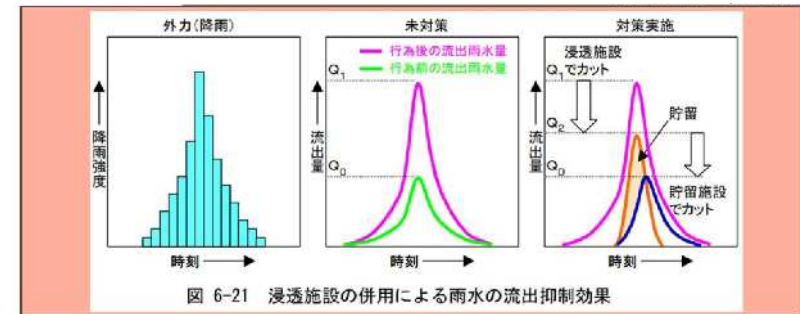


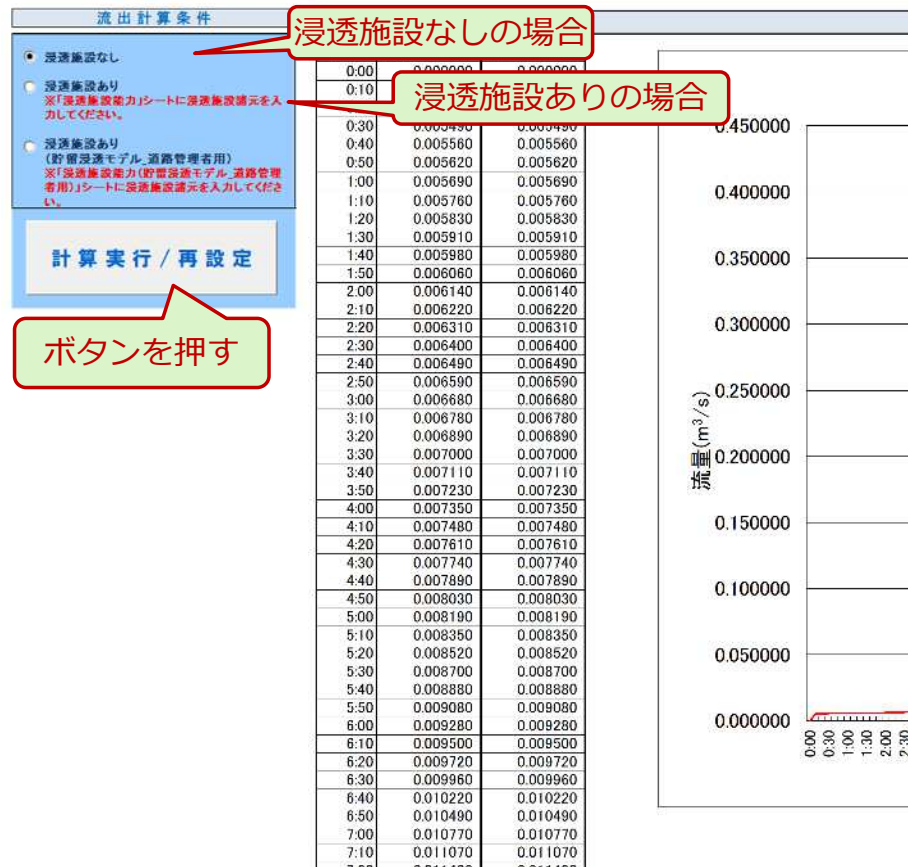
図 6-21 浸透施設の併用による雨水の流出抑制効果

- 「浸透マス」「浸透トレンチ」「透水性舗装」「その他」の種別に設置数量を入力してください。
- 浸透施設の計上で決まる比浸透量(どの程度の水を浸透させる能力をもつ施設なのか)は、「比浸透量」シートで算定できます。また、浸透施設ごとに空隙貯留分を設定してください。
- 飽和透水係数は、「単位」を選択してください。

Step1:概略計算

④調整池容量の概算

浸透施設を考慮した流出量



「02流出計算(QT-Sグラフ)」シート

・ 浸透施設を設置するか/しないかを選択してください。「浸透施設あり」にすると、「浸透施設能力」シートの内容を反映させて、行為後の流出量を算出します。

・ 浸透施設を設置しない場合でも、「計算実行/再設定」ボタンを押してください。

Step1:概略計算

④調整池容量の概算 調整池の概算容量計算

※①自然調節方式により調整池容量を概算する場合に入力してください

入力条件	
行為後ピーク流入量 (浸透考慮後)	0.388090 m^3/s
調整池諸元 許容放流量 (行為前ピーク流入量)	0.085290 m^3/s
調整池高	2.000 m
浸透施設条件	施設なし

②ボタンを押す

計算実行	
概算結果	
必要容量	460 m^3/ha
オリフィス径(円管、直径)	0.17 m

③この概算結果をもとに以降に詳細設計します

注1) 必要容量の単位は「 m^3/ha 」なので、この値に行為面積を掛けてください。

注2) 許容放流量以下とするための円管のオリフィス径が参考値として示されます。実際のオリフィスの形状などは「詳細計算」で設定します。

「03-①調整池容量の概算」シート

- ・ 詳細設計をするために、単位行為面積あたりの必要容量とオリフィスの計上を概算します。
- ・ 入力する条件は「調整池高」のみです。調整池高は排水先の高さとの関係などから、概略で設定します。
- ・ 調整池容量計算システムでは、調整池内の水位に応じてオリフィスからの放流量を算出しています。【厳密計算】

水位が低い時



水位が高い時



この状態の時の $Q2$ が許容放流量以下になる必要がある。

Step2:詳細計算

「04-①調節計算(自然調節方式)」シート

①調節計算(自然調節方式)

設計する施設の判定

入力条件

設定調整池諸元			行為後流入量	
No	水深(m)	容量(m³)	行為後ピーク流入量 (池底考慮後)	許容放流量 (行為前ピーク流入量)
1	0.000	0.00	0.388090 m³/s	0.085290 m³/s
2	2.000	550.00		
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
31				
32				
33				
34				
35				
36				
37				
38				
39				
40				
41				
42				
43				
44				
45				
46				
47				
48				
49				
50				

放出口形状
(口径)
●円 直径 0.17m
○卵形 高さ 0.15m 幅 0.15m
(管底位置)
池底高から m

③計算実行

計算実行

④判定結果

計算結果

総合評価	
総合評価	OK

放流量評価	
放流量評価	OK
許容放流量	0.085290 m³/s
最大放流量	0.080881 m³/s

池容量評価	
池容量評価	OK
池内最大ボリューム	518.24 m³
池内最大水深	1.884 m

上乗せ分評価	
上乗せ分の貯留量	30m3増分 OK
および貯留率	31.76 m³
	5.8 %

許可申請図書の作成

⑤申請図書作成

許可申請図書の作成

①調整池の形状

②オリフィスの形状

・実際に設置する調整池とオリフィスの形状を入力し、許可基準を満たしているかを判定します。

・トライ＆エラーを繰り返しながら、「総合評価」がOKとなる形状を設定して下さい。

・最後に、「許可申請図書の作成」を押すと、必要なデータが保存されます。

Step2:詳細計算

「04-①調節計算(自然調節方式)」シート

①調節計算(自然調節方式)

「総合評価」以外の判定結果の見方

計 算 結 果	
総合評価	O.K
放流量評価	O.K
許容放流量	0.085290 m ³ /s
最大放流量	0.080881 m ³ /s
池容量評価	O.K
池内最大ボリューム	518.24 m ³
池内最大水深	1.884 m
上乗せ分評価	30m ³ 増分 O.K
上乗せ分の貯留量	31.76 m ³
および貯留率	5.8 %

・「総合評価」でOKとなるためには、「放流量評価」と「池容量評価」の両方がOKにならないといけません。

・「放流量評価」がNGの場合、オリフィスが大きすぎて許容放流量以下になっていないので、オリフィスを小さくしてください。

・「池容量評価」がNGの場合は、調整池が小さくオーバーフローしているので、池の大きさを大きくしてください。

※「30m³増分OK」は、許可の判定には関係ありません。

今後、認定制度の運用を検討していきます。